

平成 15 年 7 月 2 日

学術雑誌環境（「外国雑誌」）に関する大学図書館の取り組み

土屋（国立大学図書館協議会、千葉大学）

0 . 国立大学における雑誌契約の原則

- 一括契約（各大学図書館が、大学全体を取りまとめて出版社（代理店、取次店）と契約）
- 前払い（物品の納品が完了しないでも支払うことができる。電子ジャーナルの使用許諾（役務契約）についても同様としてある）
- 購入タイトルの決定は、（ほとんどの大学でバラバラに）教員が主体（「予約購読（停止）希望調査」等によって集約。この段階では価格、外貨状況は知らされていないことが多い。）

1 . 1990 年代の状況と各大学における対応

- 各大学におけるタイトル減の「予感」（タイトル減の真実は 1999 年に発覚）
- 欧米における Serials Crisis に関する知識の不足：図書館側における出版流通体制への無関心（「代理店」依存体質のつけ）
- 比較的潤沢になった研究資金（科学技術基本計画、大学院重点化等）
- 「全体を見る」パターナリズムの減衰（NACSIS（1986 年設立）の皮肉？）
- 図書館を襲い、かつ利した電子化の嵐（NACSIS-CAT、2 次文献情報 CD-ROM サーバ、リテラシー教育などなど）

2 . 世紀転換期における（出版側での）電子ジャーナルの急速な普及と立ち遅れた対応

- 1998 年くらいまでは、みな、様子見模様
- 北米における（電子化とは独立の）対応（1990 年代を通して）とその帰結としての SPARC（1998）
- Elsevier の積極攻勢（SD21 プログラムの提案、2000 年からの円価格等）
- 円価格問題への対応（国立大学、私立大学等で異なった）
- サイト・ライセンスがよくわからない、価格モデルがよくわからない（もっとも誰もわからなかった）

3 . 国立大学図書館協議会電子ジャーナルタスクフォース

- 2002 年からの契約を念頭において 2000 年 9 月設立
- 出版社との直接交渉を原則（当初は、主要 5 社ターゲット）
- 契約条件の改善（1 大学 1 サイト原則、ILL、学外者利用、プライス・キャップ等）
- 利用環境の改善（ミラー・アーカイブ設置、利用者講習担当者研修、統計情報の正確化(COUNTER 対応)等）
- 予約購読意思決定システムの改善、「集金」システムの確立の推進（「全学予算化」等）
- ただし、契約は大学ごと（条件は国立大学全体を一つのコンソーシアムとみなさせる）
- 相当程度の成果：「2002 年は（日本の国立大学の）電子ジャーナル元年」

- 現在 20 数社と交渉

4. 限界と SPARC

- 2002 年以降値上げがとまっているわけではない（「2 桁値上げ」の会社もまだ多い）
- 全学予算化には伸び率を止める副作用（法人化を前にした萎縮との相乗逆効果）

手詰まり

- 2001 年 8 月（9/11 直前）、米国 SPARC からの呼びかけ（SPARC Europe 準備中、日本・アジアが今後の課題、独自のシステムの追及）
- 2001 年 10 月理事会で紹介、原則賛成
- 文部科学省情報科学技術委員会「根岸ワーキンググループ」における検討、報告書への反映
日本の学会誌の状況について（図書館として）初めて認識

5. 大学図書館はこれから何をしようとしているか？

• 学術出版の状況に関する情報共有の推進

- SPARC の目的は、「研究者自身による研究情報流通のコントロール」
- 商業出版社を中心とする体制は、それを不可能にし、それによって大学の研究機能に危機をもたらしている
- 図書館はその最前面に立ち、状況を認識している（外国出版社との付き合いもある）
- この危機的状況をキャンパス内で教員・研究者と共有し、協力して大学の研究機能を維持するために努力したい
- （予約購読であれ、論文投稿であれ）研究者が意思決定しないといけないのだから、この状況を理解いただくための努力がまず最初

パンフレット、ワークショップ、講演会、ウェブページを活用した情報共有推進活動

• 学術出版の状況を改善しようとする学会等への協力

- 日本発の電子ジャーナルのコンソーシアム交渉・契約
- 共同で研究（たとえば、Open Access や PubMed Central 方式等について）
- 国際連携における信用保証（SPARC は図書館のイニシャティブ）

• 大学からの情報発信の推進

- 機関レポジトリの創設（大学における（特許以外の）知財管理への取り組み、出版契約における Non-exclusive licensing の推進等。Cf. DSpace, Fedora, CDL 等）
- サブジェクトポータル共同構築（NII との連携を含め）

（関心のある学会関係者は、タスクフォース事務局までご連絡を：

東京大学附属図書館情報管理課資料契約掛長（山本）：yamamoto@lib.u-tokyo.ac.jp）